

海鳴学園ふるさと研究内容一覧表

年度	研究テーマ	テーマ要旨
H6	1. 紅葉寺探索	今は廃寺となっている橋本にある「紅葉寺」の、源頼朝が寵愛した妙相（みょうそう）との頼朝伝説の調査研究
	2. アサリ中毒事件と今日の問題	昭和17年3月の戦時下に突然発生したアサリ中毒事件で原因不明のまま苦しみ急死していった事件の実態の調査研究
	3. 諏訪神社の扁額	西洋数学が入る前に、和算という優れた数学が日本にあり、その成果の一部が諏訪神社の算額に残っていて、その取材と調査研究
	4. 頼朝伝説	静岡県の歴史中新居に関わりのある人物はまれであるが、源頼朝についてはロマンに満ちた記述もあり、彼のエピソードのもと人物像研究
H7	5. 新居町における 災害の歴史	関所開設中250年間に遭った慶長・元禄・宝永・安政の大被害による三度の移転を中心に新居の災害の歴史について調査研究
	6. 新居の関所	新居町には全国で唯一関所の建物が現存。どうしてか、何故新居に関所が出来たのか、どんなことをしていたのかの調査研究
	7. 庚申信仰について	興味のあるふる里再発見として庚申講（待）という農民信仰の行事に注目し、風化して行く先祖の信仰を調べる。その調査研究
	8. 新居町の漁業の今昔	新居町の漁業は、遠州灘と浜名湖という天然の漁場に恵まれている。漁法と漁獲物の過去・現在の実施状況について調査研究
H8	9. 新居町の農作物	新居町での農作物である琉球蘭の作業の大変さを含め、琉球蘭に関わる盛衰の軌跡の調査研究
	10. ふるさとの方言	新居町の味わいのある方言も、他の地区同様余り使われなくなっているの、ぜひ次期世代に伝え残したいとして調査研究
	11. 仏教の源流	お寺のことを調査研究するならば、仏教自体も又その研究の対象とすべきではとの提案より実施調査研究
	12. 隣海院の沿革について	私たちを慈しんでくれた祖先に想いを馳せ、日頃お世話になっている身近な寺院の隣海院の沿革・宗教の理念等の調査研究
	13. 鏡光山心賀寺	当山は大変古くからのお寺で、仏像並びに経典、軸物、美術工芸品等数多く有し、古典文化を偲ぶのも意義が有り調査研究
	14. こと八日行事	大倉戸という部落に伝わる年間行事として長い歴史を受け継いできて文化庁から無形の民族文化財の選択書を受けた行事の調査研究
H9	15. 新居町の祭りについて	郷土の昔の住民が集団生活を営み残した文化遺産の中で、無形文化財にもなっている信仰の行事の神社の祭りについて注目し調査研究
	16. 二宮神社の沿革について	新居町にある神社の中で、唯一昔より行われている行事の二宮神社の流鏝馬やご神体の勾玉についての調査研究
	17. 文学碑余話	新居町にある、個人あるいは団体などで建てた歌碑や句碑と、近年教育委員会で建立した、いわゆる公立の文学碑に分けて調査研究
	18. シルバーガイド	平成10年今切開口500年祭、平成13年東海道宿駅制度発足400年祭記念のイベント案等が続々と計画されシルバーガイド目指し調査
H10	19. ふるさと民間療法いろいろ	時代の流れ、社会の変化と共に古くから築き育て、受け継がれてきた素民間療法についての調査研究
	20. 浜名川の昔と今	今切開口はその昔、新居を縦断している浜名川が大地震、津波の繰り返しにより、いろいろと関連があると聞き調査研究
	21. 新居町本町を貫流する五条の沢	関所で、宝永5年、新居の関所が現在のところに移転後の新居宿の街並みの地図を見て、当時既に沢が存在していた。この調査と研究
	22. 新居町の食文化	昭和10年頃の新居町の、年中行事とその食べもののしきたりについての調査研究

年度	研究テーマ	テーマ要旨
H11	23. わが町新居町の鰻養殖の先駆者は誰か	新居町の歴史の中で、養鰻の起源について、はっきりしていないことに気が付き、いつ頃、どこで、誰が始めたのかの調査研究
	24. 新居町の灯籠	西町では今日でも「お明かり番」と称して、若宮様に灯明を上げに行く習わしがある。他の町も活用。これらの灯籠の経緯等の調査研究
	25. ヒコ名の由来記	「ヒコ名」は、江戸時代から明治にかけて生まれ、大正から昭和初期にかけ、盛んに使われていた「あだ名型屋号」の呼び方でこの調査研究
H12	27. 正興山本果寺について	総本山は三条市の本成寺。本興寺の末寺で法華宗。家康より先規に習い諸役免除の土地及び四石五斗の判物拝領、等の調査研究
	28. 新居町における津波、高潮について	新居町は、中世以降でも地震、津波により生命、建物および家財等を失い多大の損害を出した。主に津波についての調査研究
	29. 点在する内山の地籍について	大字新居に大字内山の所属する土地が点在している。実態が分かっていない。内山地籍の土地点在状況の調査研究
	30. 清源院にまつわるおはなし	寺院に関するあまり知られていない伝説は無いかと班員で相談したら清源院に面白い伝説が有るということで調査研究
H13	31. 遠江新居宿「紀伊国屋」と旅籠	江戸から数えて31番目の宿場であった新居宿で、最大規模を誇った旅籠屋「紀伊国屋」の沿革・概要の調査研究
	32. 新居郵便局の移り変わり	新居郵便局が開局されてから130年間に3回の移転をくり返し戦前、戦中、戦後の激動の時代の移り変わりの調査研究
	33. 今切渡船の発祥と沿革	東海道の要衝であった「今切渡船」は約500年前の浜名湖が海と繋がった頃が始まり。その組織・沿革について調査研究
	34. 湊神社について	湊神社の創立は不詳。850年頃に既に官社に列せられた名高い神社。湊神社は昔の角避比古神社の後身と言われ研究
H14	35. 泉町、船町のギスカゴについて	俵町のギスカゴは保存会の尽力で継続。泉町は昭和51年復活したが自然消滅、船町は昭和24年で中止。この調査研究
	36. 東海道線と新居町駅の開設について	明治21年に東海道線浜松・大府間が開通。鷺津と馬郡に停車場が設置されたが新居には無く度重なる請願で設置の調査研究
	37. 角避比古神社考	角避比古神社創立は不詳。西暦850年頃官社に列せられた名神社。今は社地が湊にあり湊の開閉を守る神で湊神社と称し調査研究
	38. 東海道の川を渡る道（新居周辺の交通）	鎌倉時代から現代までの新居周辺の交通がどう変化したか、浜名川の変遷、橋本にあった浜名橋、橋本の地名の調査研究
H15	39. 新居町災害の歴史と東海地震の備え	新居町史等を基に「新居町の地震災害年表」の作成と、安政地震の詳細、東海地震の予知・備えと、「非常備蓄品」の一覧表関係調査研究
	40. 新居町のあけぼのについて	新居の地に人が住み始めたのは7千年前で縄文時代前期。その後、湖底遺跡のスマテ・セゼラ遺跡にも人が住み始めた。それ等調査研究
	41. 松山新田村について	17世紀は日本の歴史上でも最も新田開発が進行。松山新田開発の野口休可は明暦2年43歳、新田開発着手の調査研究
	42. 浜名海兵団について	昭和19年5月に海兵団が住吉地区に建設。海軍の新兵を教育。新居に設立理由は、浜名湖に近く水兵の訓練に最適。調査研究
H16	43. アサリの天敵ツメタ貝について	平成15年度より浜名湖のアサリ漁獲量が減り潮干狩りを中止。アサリを食べるツメタ貝の繁殖が大きな原因。調査研究
	44. 絶滅の新居町の地場産品（琉球蘭草）	戦前戦後の苦しい時代農家の家計を支え続けた（琉球ゴザ）琉球蘭草の栽培から製品まで。また蚕網の調査研究
	45. お釈迦様と涅槃団子について	涅槃会はお釈迦様が亡くなられた日2月15日に宗派を超えてどの寺院でも涅槃図を掛け法要。涅槃団子は供物、の調査研究
H17	46. 後世に伝承したい新居独特の年中行事・風物詩	新居町ならではの行事の内容・背景等について調査研究。(1)津島神社代参、(2)住吉神社祭典での浴衣着用、(3)初盆時の七寺参り、(4)地の神信仰
	47. 新居町の十二寺院について	新居町の12寺院の、山号・宗派・本寺・住職・本尊・寺紋・所在地の一覧表の作成と「おびんずるさま」等仏像・行事の調査研究

年度	研究テーマ	テーマ要旨
H18	48. 時代を駆け抜けた、新居ゆかりの女性たち	新居町史を中心に、その他の文献等、平安時代初期から昭和初期までの間で女性の登場・活躍した日記などの記述による調査研究
	49. 新居町と競艇事業	戦後個人も新居町も貧困で有った。町の財政立て直し、町民の生活を豊かにの念願から始まった競艇事業の調査研究
H19	50. 新居で伝承、育まれてきた唄・歌・唄	唄は皆に郷愁や安らぎを与える。昔から独特の唄が沢山あるが歌える人が少ない。新居独自の唄の調査研究
	51. 昔から今に伝わる新居銘菓すあま	新居独特の食文化。以前は3月の節句にはどの家庭でも作った郷土伝統食「すあま」の昔ながらの作り方調査研究
H20	52. 新居の名士 袴田孫兵衛	孫兵衛は蚕の改良、桑の木の改良、人口肥料を奨励し、二宮金次郎の報徳の教えを生活に活かす等の調査研究
	53. 郷土の功労者 尾崎久平翁	橋本と吉津村（旧湖西）を結ぶ通称農免道路は、重要だが難所で徒歩坂と呼ぶ急な坂道を久平は迂回路を造った等調査研究
H21	54. 新居の共同風呂・銭湯	新居町の銭湯は現在は1つ。子供の頃にはどこの部落にも共同湯があり交流の場であった。どこにいくつ位有った等調査研究
	55. 「新居町歌」からみえたもの	聞き覚えのあった町歌の出来た時はいつ？また、町歌の中の「浜名の橋」はどこに？「みかど」は誰のこと？の疑問等の調査研究
H22	56. わが郷土の偉人「豊田佐吉翁」	佐吉はその全生涯を織物機械の発明と改良に捧げた。進取精神の格言「障子を開けてみよ、外は広いぞ」が有名等の調査研究
	57. 大きく発展した新居町120年	町制120年の記念の年。大きく発展してきたが、中之郷が新居町誕生時に合併せず16年後に合併したのは？等調査研究
H23	58. 湖西市を中心として、歴史に残った大地震と大津波の災害について	平成23年3月11日の東日本大震災が発生し、湖西市でも30年以上に87%という確率で、東海・東南海・南海の3連動地震が発生すると予想されている。超巨大地震に備えるため、歴史に残った大地震・大津波の災害について調査研究
	59. M9クラスの大地震・大津波が起きた時みんなはどうすれば助かるのか	東日本大震災では震度6の揺れではほとんどの家が大丈夫だったが、しかし、次に襲ってきた大津波はあらゆるものを飲み込み破壊し、町がすっかり消えてしまった。被害を最小にし、自分や家族、そして仲間の命をどうすれば守れるのかの調査研究
H24	60. お盆について	お盆の起源、教え、供養の仕方などを調べて本当の意味や正しいことを子や孫に伝え、残していきたいと思ひ調査研究
	61. 湖西の民話について	湖西の民話はほぼ事実に基づき、白須賀地区が大半を占める。①風之宮の伝説 ②汐見坂の豆石 ③子育て飴 等民話の調査研究
H25	62. みえてきたふるさと ～海鳴学園25年間を振り返って～	昭和62年に県下初の「老人大学」がスタートして25年が過ぎた。今まで積み上げてきた「海鳴学園」について研究し、まとめ、これからのあり方について提言
H26	63. 白須賀宿	白須賀宿の歴史と伝統の中から、「地震・大津波」「本陣」「勝和餅」「地引網」を取り上げて調査研究
	64. 江戸から明治にかけての飯田本陣	新居町にただ一軒だけ現存する飯田本陣に保存されている資料を基に、本陣の果たした役割や当主について歴史的観点に立ち、「本陣塾」「地図」「吉田藩救済」「行在所」「関所建物の存続」「女手形」「花器」「へなへな橋」「郵便局」をテーマに取り上げて調査研究
H27	65. 湖西市郷土の偉人 遠州国学者 夏目鸞磨 ～師弟との繋がり&偉業を探る～	夏目鸞磨の生い立ちや、取り巻く環境、時代背景を探るため、師系などの関係する現地へ出向き、どのような偉業を成し遂げたのか調査研究
	66. 湖西市に残る白秋の足跡とその伝承	歌人として高名な北原白秋は湖西市に大きな文化的影響を与えた。白秋が湖西市に残した足跡と、本人が歩いたと思われる現地を巡り、縁りのある生存者を訪問するなどして調査研究。
H28	67. 豊田佐吉翁 生誕150年 「郷里：湖西に活きつく豊田佐吉」	豊田佐吉翁生誕150年を迎えるにあたり、佐吉の生涯と研究に対する志・情熱・精神が今の湖西にどのように活きづいているか、豊田佐吉記念館やトヨタ産業技術記念館をはじめ湖西に残る関連施設を訪問し、佐吉の足跡を調査研究
H29	68. 湖西市のおいしい食べ物	伝統的な郷土料理と名物、新たな地元産の食材を使って開発された食べ物を掘り起こし、現地に出向いて、由来・苦労話、使う食材、作り方、特徴を研究
H30	69. 湖西郷土カルタ	誰もが興味を持てる内容で、これまで研究されてこなかったカルタを参考に、テーマを湖西郷土カルタを通して郷土の歴史や文化を学び、語り継いでいくとした。知波田、入出、新所、鷺津、白須賀の5地区に分け、図書館で文献の調査、現地へ出向き、古者に話を聞き、写真を撮り、集めた資料を整理した。
R1	70. 湖西歌舞伎	湖西市に伝統民俗芸能「湖西歌舞伎」があることを知り、より多くの人に知っていただくとともに、次代に継承されるようにと願いを込め、このテーマとした。